



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カイオム・バイオサイエンス

コード番号 4583 URL <http://www.chiome.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 正明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部シニアディレクター (氏名) 清田 圭一 TEL 03-6383-3746

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	78	-	△285	-	△285	-	△267	-
26年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △287百万円 (-%) 26年3月期第1四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△13.27	-
26年3月期第1四半期	-	-

(注1) 当社は、平成26年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第1四半期の実績及び増減率は記載しておりません。

(注2) 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	4,806	4,407	91.1	216.03
26年3月期	5,012	4,559	89.8	223.17

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 4,380百万円 26年3月期 4,502百万円

(注) 当社は平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年12月期	-	-	-	-	-
26年12月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	342	-	△1,043	-	△1,041	-	△1,043	-	△54.56

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注2) 平成26年12月期は決算期変更の経過期間となることから、通期については、9カ月間（平成26年4月1日～平成26年12月31日）の予想数値を記載しております。このため、通期の対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期1Q	20,276,000株	26年3月期	20,174,000株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	146株	26年3月期	146株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期1Q	20,195,877株	26年3月期1Q	19,121,016株

(注) 当社は平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、業績数値の前年同四半期等との比較は行っておりません。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における事業開発活動の状況としましては、主に中外製薬株式会社及び同社の海外子会社であるChugai Pharmabody Research Pte. Ltd.（以下、「中外製薬グループ」といいます）との契約に基づく研究開発活動を中心に、順調に事業を推進してまいりました。診断薬分野の大手企業である富士レビオ株式会社（以下、「富士レビオ」といいます）におきましては、ADLib®システムから取得した抗体を使用した診断薬キットの販売が開始されており、その売上高に応じたロイヤルティ収益を計上いたしました。今後、同キットの市場への本格的な浸透によるロイヤルティ収益の増大が期待されます。また、当社の独自技術であるADLib®システムの研究を積極的に推進し、完全ヒトADLib®システムの多様性の向上や、リード抗体作製に関する研究開発活動を継続しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は78,172千円、営業損失は285,318千円、経常損失は285,391千円、四半期純損失は267,989千円となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりです。

① 創薬アライアンス事業

中外製薬グループとの契約に基づく研究開発活動を継続しております。今後は、従来のADLib®ライブラリに加えて、完全ヒトADLib®システムでの複数の製薬企業との契約締結に向けた営業活動を開始いたします。

連結子会社の株式会社リブテックは、平成23年11月に株式会社ヤクルト本社と締結したがん治療用抗体「LIV-2008」の独占オプション契約に基づき、各種非臨床試験を行っております。

以上の結果、当該事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は70,506千円、セグメント利益（売上総利益）は42,881千円となりました。

② リード抗体ライセンスアウト事業

当該事業につきましては、従来から実施している活動を継続しており、今後の売上の獲得を目指す所存であります。

横浜市立大学と共同研究中の抗セマフォリン3A抗体は、導出に向けた魅力的なパッケージの構築のための、疾患モデル動物での薬効試験を実施しております。米国のBiotecnol, Inc.との共同研究では、順調に研究開発活動が進捗しており、今後、革新的なリード候補抗体を取得していく予定です。また、複数の大学や公的機関等との連携を強化し、新規治療用抗体の探索研究を継続して実施しております。

当該事業につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高及び利益（又は損失）は発生しておりません。

③ 基盤技術ライセンス事業

オリジナルADLib®システムの技術導出先である富士レビオでは、臨床検査・診断に用いる試薬の研究開発を行い、その成果として、欧州での“ビタミンD測定用の抗体を含む診断キット（Lumipulse® G25-0H Vitamin D Immunoreaction Cartridges）”の販売を平成25年12月より開始しております。この他、技術ライセンスに興味を持つ国内外の複数企業との間で技術評価試験の実施及び技術ライセンススキームの交渉を行っております。

以上の結果、当該事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は7,965千円、セグメント利益（売上総利益）は7,905千円となりました。

これら各セグメント事業の基盤となる技術プラットフォームの研究開発活動の状況につきましては、平成26年3月に完全ヒトADLib®システムから複数の抗原に対する特異的抗体の獲得に成功し、当第1四半期は、同システムの多様化レベルの向上、ライブラリの拡充を実施いたしました。また、困難抗原に対する特異的抗体の作製を進め、パイプラインの拡充や戦略抗体の創出に取り組んでおります。

当社は創薬基盤技術であるADLib®システムを核として事業を展開しており、全ての保有資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、研究開発費を各報告セグメントへ配分しておりません。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における研究開発費は174,188千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

財政状態の分析

（流動資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は4,297,991千円（前連結会計年度末は4,514,672千円）となり、前連結会計年度末と比較して216,681千円減少しました。この主な要因は、販売費及び一般管理費や固定資産の取得による支出等により現金及び預金が206,299千円減少したこと等によるものであります。

（固定資産）

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は508,975千円（前連結会計年度末は498,131千円）となり、前連結会計年度末と比較して10,844千円増加しました。この主な要因は、ソフトウェアの購入等により無形固定資産が10,603千円増加したこと等によるものであります。

（流動負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は292,399千円（前連結会計年度末は347,064千円）となり、前連結会計年度末と比較して54,665千円減少しました。この主な要因は、固定資産購入代金の支払等により未払金が25,835千円減少し、借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金が16,653千円減少し、また、売上計上に伴い前受収益が11,799千円減少したこと等によるものであります。

（固定負債）

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は106,754千円（前連結会計年度末は106,595千円）となり、前連結会計年度末と比較して158千円増加しました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は4,407,813千円（前連結会計年度末は4,559,143千円）となり、前連結会計年度末と比較して151,330千円減少しました。この主な要因は、新株予約権の行使に伴い資本金及び資本剰余金の合計額が145,796千円増加した一方で、四半期純損失により利益剰余金が267,989千円減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に発表いたしました平成26年12月期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,349,733	4,143,434
売掛金	46,806	38,251
たな卸資産	57,059	41,263
未収消費税等	48,118	46,463
その他	12,953	28,578
流動資産合計	4,514,672	4,297,991
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	181,093	181,093
減価償却累計額	△11,484	△14,513
建物附属設備 (純額)	169,608	166,580
機械及び装置	480,919	477,268
減価償却累計額	△309,230	△302,439
機械及び装置 (純額)	171,689	174,829
工具、器具及び備品	67,661	72,778
減価償却累計額	△37,997	△40,336
工具、器具及び備品 (純額)	29,664	32,441
建設仮勘定	2,533	-
有形固定資産合計	373,495	373,850
無形固定資産		
特許権	7,785	7,549
ソフトウェア	4,109	9,292
ソフトウェア仮勘定	8,210	10,324
のれん	31,814	35,356
無形固定資産合計	51,919	62,522
投資その他の資産		
敷金及び保証金	72,716	72,602
投資その他の資産合計	72,716	72,602
固定資産合計	498,131	508,975
資産合計	5,012,804	4,806,967

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,072	30,932
1年内返済予定の長期借入金	20,812	4,159
未払金	115,167	89,332
未払費用	33,123	33,868
未払法人税等	14,903	4,675
前受金	68,224	71,295
前受収益	35,489	23,690
賞与引当金	12,780	8,381
預り金	20,317	26,063
その他	174	-
流動負債合計	347,064	292,399
固定負債		
長期未払費用	20,784	20,472
資産除去債務	47,935	48,062
長期前受収益	22,073	22,730
繰延税金負債	15,802	15,489
固定負債合計	106,595	106,754
負債合計	453,660	399,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,348,737	3,421,635
資本剰余金	3,338,737	3,411,635
利益剰余金	△2,184,884	△2,452,873
自己株式	△292	△292
株主資本合計	4,502,297	4,380,104
新株予約権	13,056	13,258
少数株主持分	43,790	14,450
純資産合計	4,559,143	4,407,813
負債純資産合計	5,012,804	4,806,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	78,172
売上原価	27,684
売上総利益	50,487
販売費及び一般管理費	
研究開発費	174,188
その他	161,616
販売費及び一般管理費合計	335,805
営業損失(△)	△285,318
営業外収益	
受取利息	288
その他	680
営業外収益合計	968
営業外費用	
支払利息	66
株式交付費	600
その他	375
営業外費用合計	1,041
経常損失(△)	△285,391
特別損失	
固定資産除却損	1,554
特別損失合計	1,554
税金等調整前四半期純損失(△)	△286,945
法人税、住民税及び事業税	1,095
法人税等調整額	△313
法人税等合計	781
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△287,727
少数株主損失(△)	△19,737
四半期純損失(△)	△267,989

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△287,727
四半期包括利益	△287,727
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△267,989
少数株主に係る四半期包括利益	△19,737

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。